

情報資産管理運用のあり方

～学内のデータバンクを目指して～

第5分科会
第3テーマグループ

大学を取り巻く社会的環境の変化

①18歳人口の減少



私立大学の淘汰、定員割れ

②大学の自己点検・自己評価



質の保証

「学生が社会的および職業的自立を図るために
必要な能力を培うための体制を整えるものとする」

—[参考] 文部科学省 大学設置基準の改正
(平成23年4月1日施行予定)

→国、社会から大学改革が求められている

システム管理者からみた 情報資産管理運用のあり方（現状分析）

①適正な管理

- ▶ ライセンス管理・機器管理、データの信憑性

②安全・安心

- ▶ 安定稼働、迅速な復旧

③セキュリティ

- ▶ アクセス権限制御、ポリシー策定・共有

3

利用者は何を求めているのか (現状分析)

) ①

[学生の場合]

大学生活・人間形成に関わる情報

- ▶ 休講情報、成績、試験
- ▶ 就職
- ▶ アルバイト

⇒社会に出て活躍できる人材になりたい
大学に行くことで、変わりたい
有意義な学生生活、仲間づくりをしたい

4

利用者は何を求めているのか

(現状分析)

) ②

[教員の場合]

- ▶ 教育・研究情報
- ▶ 学習支援情報
- ▶ 学生生活支援情報

⇒学生の状況を把握し、より高い教育研究効果、大学の質の向上を図る

5

利用者は何を求めているのか

(現状分析)

) ③

[職員の場合]

- ▶ 業務遂行(教務、学生、法人等の各業務情報)
- ▶ 学生生活支援

⇒情報共有による迅速な対応
教職協働の連携を高め、教育研究効果、大学の質の向上を図る

6

利用者は何を求めているのか

(現状分析

) ④

[保護者の場合]

- ▶ 子息の状況(履修、成績、出欠、学生生活など)
- ▶ 大学の情報

⇒卒業できるのか
就職できるのか
人生設計は

7

現状分析からニーズを満たすために

1. どのように情報を管理するか
2. どのような形で情報を提供するか
3. どのように業務の省力化を図るか



多種多様な知の資産を収集、管理、提供
→最新情報をスピーディに提供



“気づき”(=戦略)を生み出す

8

ICT戦略コンサルタントを目指して



▶ ⇒ICT部門は、他部署と連携をとるHUB の役割

9

ICT戦略コンサルタントを目指して

▶ 情報管理部門の意識改革

→職員全体の意識改革

▶ →教職協働

▶ 情報管理部門のイニシアチブ発揮

→大学経営支援・パートナーシップ

10

情報は活用すれば宝の山

活用しなければただのゴミ！

